2011 年 6 月 30 日

MINI CLUBMAN “GO EDGY” キャンペーン 開始 MINI CLUBMAN(ミニ・クラブマン)が様々なクリエイターとコラボレーション。特別フリーマガジン「GO EDGY(ゴー・エッジー)」を全国で無料配布開始。

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: ローランド・クルーガー）は、シューティング・ブレーク*というコンセプトを採用した MINI のモデル、MINI Clubman のユニークなモデルコンセプトや独創的な世界観を広く告知するため、MINI Clubman と、写真家やファッションデザイナー、建築家やファッション・モデルなど様々なクリエイターとコラボレーションを実施。それに伴い、このコラボレーションを特集した特別なフリーマガジン「GO EDGY」を制作し、全国の MINI 正規ディーラーや全国のアパレル・セレクトショップ、カフェなどで無料配布することを発表した。

なお、キャンペーンのテーマである「GO EDGY」とは、常に流行やトレンドの最先端であろうとするMINIブランドの姿勢を表している。1959年に誕生したMINIは、1960年代以降、著名なデザイナーやミュージシャン、映画スターなど多くのオピニオンリーダーに愛され、時代の流行と深く関わってきた。特に通常モデルよりも長いホイールベースや観音開きのドアなど、斬新なモデルコンセプトを採用したMINI Clubmanは50年前においても、今においても斬新さを提案し続けるモデルである。

特別フリーマガジン「GO EDGY」
新しくデビューしたMINI Clubmanの4つの特別限定車、「MINI Clubman SOHO(ミニ・クラブマン・ソーホー)」、「MINI Clubman Wembly(ミニ・クラブマン・ウェンブリー)」、「MINI Clubman Brick Lane(ミニ・クラブマン・ブリックレーン)」、「MINI Clubman Hampton(ミニ・クラブマン・ハンプトン)」が「GO EDGY」というテーマのもとにクールでスタイリッシュな写真とともに紹介されている。

誌面では、それぞれの限定車に「FASHION(ファッション)」「ARCHITECURE(建築)」「ART(アート)」というコラボレーションコンセプトが与えられ、そのコンセプトに基づいて、カッティングエッジな活動を行うクリエイターたちがMINI Clubmanの独創性を表現した。

なお、特別フリーマガジン「GO EDGY」は、全国のMINI正規ディーラーや全国のアパレル・ショップ、カフェ、セレクト・ショップや一部タワーレコード等で無料配布される。

"GO EDGY”スペシャル・ウェブサイト
「GO EDGY」をテーマにしたスペシャル・ウェブサイトも同時公開され、マガジンには載りきらなかった更なるスペシャルコンテンツを楽しむことができる 。
MINI CLUBMAN PRESENTS “GO EDGY“ スペシャル・ウェブサイト: www.mini.jp/GoEdgy

添付資料 1) コラボレーションアーティスト・プロフィール
添付資料 2) 雑誌『GO EDGY』一部コンテンツ

*シューティング・ブレークとは英国で狩猟などに使われたクルマのこと。伝統的にシューティング・ブレークのモデルは 2 ドアでありながら、後ろに猟銃や荷物を運ぶスペースを確保していた。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
MINI カスタマー・サポート：フリーダイヤル 0120-56-5532 をご掲載ください。
受付時間：9:00-20:00 年中無休
MINI インターネットウェブサイト： http://www.mini.jp

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026（製品広報）

添付資料1）コラボレーションアーティスト プロフィール

テーマ1：『GO EDGY FASHION』for MINI CLUBMAN WEBLEY / BRICK LANE
新津保建秀 “フォトグラファー”
1968年東京都生まれ。写真と映像を軸に自身の作品制作および、建築、映画、文藝、電子音楽、グラフィック、情報デザインなどさまざまな領域との共同作業、企業のためのプロジェクトを手掛ける。著書:「記憶」(FOIL)、共著:「GOTH / モリノヨル」(角川書店)、関連書籍:「建築と写真の現在」(TN プローブ) /「Tokyolife : Art and Design」(Rizzoli New York) 「‘おいしく、食べる’ の科学展」(科学未来館)

セミトランスペアレント・デザイン“デザインスタジオ” について
デザイナー／デバイスデベロッパー／プログラマーから成るデザインスタジオ。発足時よりネットとリアルを連動するような独自の手法を確立し、多くのウェブ広告を制作する。カンヌ国際広告祭、クリオ賞、One Show、NY ADC、D&ADなどの広告賞を多数受賞。2008年にインターコミュニケーション・センター“ICC”、2009年に山口情報芸術センター“YCAM”、2010年にクリエイションギャラリーGにてインスタレーション展示など、その表現領域を広げている。
www.semitransparentdesign.com

アレクサンドレ・ヘルコビッチ “ファッションデザイナー”
世界で最も有名なブラジル出身のファッションデザイナー。Phytoervas Fashion showで初のコレクションを発表した1994年以降、彼のブランドは急成長を遂げ、ロンドンやNYなど、世界各都市でショーを開催。現在はHerchcovitch; Alexandre“プレタポルテ”とHerchcovitch; Jeans“デニムライン”のメンズ／レディス、各シーズン4つのコレクションを発表。アートをはじめ、プリントやテキスタイル、ブラジル文化への愛情が投影された彼のデザインは、世界中に多くのファンを生み続けている。
herchcovitch.uol.com.br

MAYA “モデル”
幼少より音楽家の親の元で育つ。高校卒業後歌手を志し、イタリアへ、哲学を専攻。日本へ帰る直前にカメラマンにスカウトされモデルの仕事を経験し、帰国後、国内外問わず、女優・モデルとしてのキャリアを歩み始める。

テーマ2：『GO EDGY ARCHITECTURE』for MINI CLUBMAN SOHO

小山泰介 “フォトグラファー”
写真家。1978年東京出身。主な写真集に『Melting Rainbows』“taisuke koyama projects / 2010”、『entropix』“artbeat publishers / 2008”、『Dark Matter』“Utrecht / 2006”など。個展、グループ展、カンファレンスへの参加など多数。
www.tiskkym.com

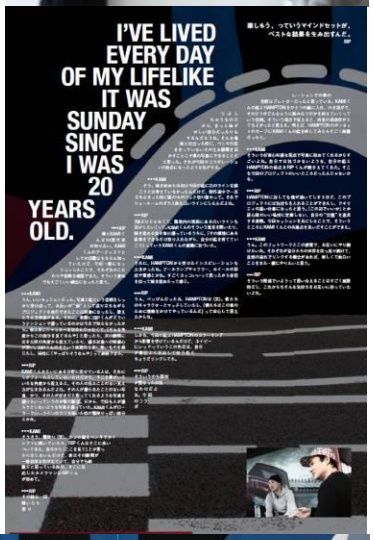
クライン・ダイサム・アーキテクツ “建築事務所”
Royal College of Artを修了し、伊東豊雄建築設計事務所での経験を積んだAstrid KleinとMark Dythamによって1991年に設立。建築設計をはじめ、インテリア、プロダクト、アートイベント、スペース

運営まで、既成概念に捕われない活動を続ける。クリエイティヴスペース『Deluxe』を1998～2005年、また『SuperDeluxe』を2002年にオープン。2003年からスタートしたトークイベント『ぺちゃくちゃないと』は400以上の都市で開催。
www.klein-dytham.com

テーマ3：『GO EDGY ART』for MINI CLUBMAN HAMPTON
RIP“フォトグラファー”
1974年東京都出身。1996年から雑誌での写真掲載を開始。さまざまなカルチャーに飛び込み、それらを独自の観点で捉えて人々へ伝えることを得意とするフォトグラファー。スケートボーダーやスノーボーダーなど動きのある写真から、ミュージシャンやペインターなどのドキュメンタリーやポートレート、自然や街などのランドスケープまで、幅広い写真を手がける。国内外の雑誌や各ブランドの広告などを手がけながら、精力的に作品を発表し続け、これまでに3冊の写真集を出版している。
www.ripzinger.com

KAMI“アーティスト”
1974年生まれ、東京在住。生まれ育った京都の情感溢れる自然風景を背景に、スケートボードをはじめとするストリートカルチャーから派生した自由な精神性とが混じり合い、フリーハンドで描く曲線を特徴とした独創性の高い作風で、壁画制作を中心に国内から海外へと幅広い視点で活動。パートナーSASUとの共同プロジェクトHITOTZUKIとして制作活動も精力的に行なっている。
www.hitotzuki.com

添付資料 2）雑誌『GO EDGY』一部コンテンツ



GO
EDGY
ART